

第20回ヤマセ研究会 (東北地域における気象・気候情報の精度向上と高度利用に関する研究会)			プログラム ver.2 開催日：2025年2月20日(木)～21日(金) 場 所：アイーナ (いわて県民情報交流センター) 研修室812
2月20日 (木)			座長：吉田 龍平、川瀬 宏明
No.	開始時間	終了時間	発表者 演題
	13:15	13:20	山崎 剛 (東北大学) 開会のあいさつ
1	13:20	13:35	菅野 洋光 (東京都立大学) 児玉安正さんのヤマセ研究について
2	13:35	13:50	大久保さゆり (農研機構東北農業研究センター) 東北地域における2023, 24年の水稲高温障害リスク
3	13:50	14:05	下田 星児 (農研機構北海道農業研究センター) 東北では温暖化・北陸では積雪変動が麦類の生物季節の変動要因となっている
4	14:05	14:20	井上 聡 (農研機構東北農業研究センター) 高温年における全国の 水稲作期の変化
	14:20	14:35	休憩
5	14:35	14:50	吉田 龍平 (福島大学) これまでの世界の豊作と不作は温暖化の影響を受けているか？
6	14:50	15:05	佐藤 玲央 (岩手大学) イネ高度耐冷性系統の受精プロセスにおける低温感受性の違い
7	15:05	15:20	土屋 幸男 (五戸再生可能エネルギー研究所) 97以下の水稲作況指数を検出するための旬累積型ヤマセ強度行列
8	15:20	15:35	高島 工 (産業技術総合研究所) 営農型太陽光発電における太陽電池アレイ下の環境観測
	15:35	15:50	休憩
9	15:50	16:05	松岡 悠太 (電力中央研究所) Ka/X帯レーダにより関東地方で観測された背の低い線状降水システム
10	16:05	16:20	木嶋 海生 (福島大学) 2008年, 2019年, 2011年のヤマセに対する数値予測実験
11	16:20	16:35	小山大次郎 (福島大学) CMIP6の30モデルによるヤマセの将来変化
12	16:35	16:50	島田 照久 (弘前大学) 夏季に亜寒帯海域から日本海に流出する下層冷気と大雨・ヤマセとの関係
13	16:50	17:05	鈴木 真一 (東北大学) 領域気候モデルで見られた地球温暖化に伴うヤマセの将来変化
	17:05	17:20	休憩
14	17:20	17:35	中川 憲一 (仙台管区気象台) 2024年夏の気象状況と海況について
15	17:35	17:50	岡田 靖子 (気象業務支援センター/気象研究所) 全球d4PDFにおけるエルニーニョ現象に伴う夏季東アジア降水変動の将来変化—台風降水と非台風降水—
16	17:50	18:05	川瀬 宏明 (気象研究所) 近年の大雪に対する地球温暖化の影響とJPCZの長期変化
17	18:05	18:20	野坂 真也 (気象研究所) 日本海沿岸地域における冬季降水量の将来変化
18	18:20	18:35	谷田貝亜紀代 (弘前大学) 日本の冬季降水量の定量評価と検証
2月21日 (金)			座長：大竹 秀明
19	9:00	9:15	高須賀大輔 (東北大学) 全球雲解像気候モデリングの現状と課題 (仮)
20	9:15	9:30	藤原 凜 (弘前大学) 2019年10月に発生した台風19号の数値モデルによるシミュレーション
21	9:30	9:45	川添 祥 (電力中央研究所) 雷の温暖化予測に向けての取り組み (仮)
22	9:45	10:00	大竹 秀明 (産業技術総合研究所) メソアンサンブル予報によるヤマセ事例の日射量予測
23	10:00	10:15	鈴木智恵子 (海洋研究開発機構) 夜間に発生する極端高温現象の頻度と季節性
	10:15	10:30	休憩
24	10:30	10:45	初塚 大輔 (気象業務支援センター) 東北地方における近年の梅雨大雨の確率的イベント・アトリビューション
25	10:45	11:00	福井 真 (気象研究所) 従来型観測を用いた日本域長期領域再解析RRJ-Convの特徴
26	11:00	11:15	石郷岡 康史 (農研機構・農業環境研究部門) 気候変動解析のための1kmメッシュ気象データセットの整備
27	11:15	11:30	遠藤 伸彦 (海洋研究開発機構) 気候予測データの提供とそれに関わる問題について
	11:30	11:50	全体討論・研究会の今後について